CA92276-5780-03

PRIMERGY BX620 S3 使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY BX620 S3 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上での追記事項がございますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

平成 19 年 1 月 富士通株式会社

1. SAS モジュールの保守交換後の動作について

1-1 Integrated Mirror SAS について

本サーバに搭載されている SAS モジュールの Integrated Mirroring SAS 機能(RAID1)をご使用になっ ている際に、SAS モジュールまたはサーバブレードに何らかの不具合が発生し、SAS モジュール交換を 行いますと、SAS モジュール上に保存されているハードディスクドライブの整合性に関する情報が失わ れます。この場合、再度データ整合性をあわせる目的でアレイコントローラのロジカルドライブの初期化 処理を行う必要があります。

これは過去にライトデータが正しくハードディスクに書かれたかを記録するデータ整合性の情報を、SAS モジュール上に保存しているためです。本データは SAS モジュール上の不揮発性 RAM(NVRAM)に保 存されております。そのデータを保守ツールにより交換直前に退避し、交換後に復元することが可能で す。データが正常に退避・復元ができた場合には初期化処理を行う必要はありません。

しかし、装置が起動しない場合など、SAS モジュールまたはサーバブレードの不具合の内容によっては、 システム上でツールを起動できず、情報を退避できない場合があります。その場合には再度データ整合 性をあわせる目的で初期化を行う必要があります。また、NVRAM 情報が退避・復元できた場合でも、デ ータ整合性を確認できなかった場合には、同様に初期化を行う必要があります。

ここで行われるロジカルドライブの初期化処理とは、2 台のハードディスク間において、バックグラウンド でデータのコピーを行いデータの整合性をあわせる動作であり、リビルド動作と同一です。

1-1-1 初期化中の留意事項について

Integrated Mirror SAS のロジカルドライブの初期化はバックグラウンド初期化処理にて行われます ので、初期化中もハードディスクヘドライブのアクセスは通常通り行えます。しかし、初期化が完了し たロジカルドライブと比較すると充分な I/O 処理性能が得られない場合があります。 最大で約 54%の性能低下となる場合があります。

OS 稼動中に初期化対象ハードディスクドライブの前面ハードディスク故障ランプがリビルド時と同様 に点滅します。

また、ServerView がインストールされている場合には本体の前面および後面保守ランプが点灯しま す。初期化完了後、これらのランプは自動で消灯いたします。この場合、前面保守ランプのみでなく、 ServerView コンソール等により、各種装置の状態確認を実施してください。

初期化完了前にサーバ本体のリセットや電源の切断が行われると初期化は中断されます。 次回再開時は中断したところから初期化が再開されますので、途中でリセットや切断を行っても初期 化は継続されます。

初期化処理が完了するまでは RAID1 ロジカルドライブは、非冗長性の状態となっています。初期化 完了が完了すると、再度冗長性が確立されます。

初期化完了は GAM ユーティリィの Controller View よりロジカルドライブ情報を表示させることにより Status が online であることからも確認できます。未完了状態は Critical となります。

下記、「初期化の完了時間の目安について」をご参照のうえ、その時間を越えても初期化処理が完了していない場合は、弊社修理相談窓口までご連絡ください。

GAM ユーティリィの操作方法については、アレイコントローラ ドキュメント&ツール CD 内の 『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド 第5章 GAM の使用方法』を参照してください。

1-1-2 初期化の完了時間の目安について

ハードディスクドライブへのアクセスがない場合、初期化の所要時間は下記の表の様になります。

これらの時間は OS が稼動しているトータル時間数で、途中で電源が切断された場合などは含みません。

ハードディスクドライブへのアクセスと並行して初期化が実行された場合には、アクセスのない状態 より長い時間を要する場合があります。

		無負荷時	高負荷時
初期ル加理時間	36GB	約 1.5 時間	約6時間
初初记起生时间	73GB	約3時間	約 12 時間

※ 高負荷時は常に高負荷のハードディスクアクセスをおこなった場合の完了時間を示します。

※ 上記はあくまでも目安でお客様の環境により完了時間は前後する場合があります。

2. USB CD-ROMドライブから Windows 2000 Server SP4 適応済 CD-ROMを使って OS をインストールする場合 の留意点

■ 留意点

USB CD-ROMドライブから Microsoft Windows 2000 Server Service Pack 4(SP4)適用済 CD-ROM を 使用し、OS のインストールを行うと、Windows 2000 のインストールを完了するための、再起動のタイミン グで以下の STOP エラーが表示される場合があります。

STOP: 0x0000001E(0xC0000005 、0xF3EC39F5 、0x00000000 、0x01010100) KMODE_EXCEPTION_NOT_HANDLED

(※現象の詳細は Microsoft 社 HP サポートオンライン: http://support.microsoft.com/ に掲載されております。「KB838417」を参照願います。)

この問題を回避するために、以下の手順に沿って OS のインストールを行ってください。

■ <u>ServerStart を使用した OS インストール手順</u>

- 1. USB CD-ROM ドライブから ServerStart を起動し、ユーザーズガイド「第3章 ServerStart による OS のインストール」に沿って OS インストールの設定を行います。
- 2. 【Windows 2000 のインストールを開始する】をクリックし、「ServerStart 自動インストールモード」より画面の指示に沿って各種 CD-ROM の入れ換えを行ってゆくと、最後に以下のメッセージボックスが表示されます。

システムが再起動します。 フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブから全てのディスクを取り出して下さい。 [OK]

このとき、USB CD-ROM ドライブのアクセスランプが消えていることを確認し、USB ケーブルをコ ネクタから抜いて、完全に USB CD ドライブをサーバからとりはずしてください。

3. USB CD-ROM ドライブをとりはずしたのち、2.のメッセージボックスの[OK]ボタンをクリックすると、サ ーバは自動的に再起動します。

以降、OS のインストールが自動的に開始されます。 画面の指示に沿ってインストールを行ってください。

■ <u>手動での OS インストール手順</u>

- 1. USB CD-ROM ドライブから、ユーザーズガイド「第4章 OS の手動インストール」に沿って OS インストール作業を行います。
- 2. OS インストール作業の最後に、以下のようなメッセージボックスが表示されます。

Windows 2000 セットアップ ウィザードの完了 Windows 2000 セットアップは完了しました。 ドライブに CD が挿入されている場合、取り除いてください。コンピュータを 再起動するには、[完了]をクリックしてください。

このとき、USB CD-ROM ドライブのアクセスランプが消えていることを確認し、USB ケーブルをコ ネクタから抜いて、完全に USB CDドライブをサーバからとりはずしてください。

3. USB CD-ROM ドライブをとりはずしたのち、2.のメッセージボックスの[完了]ボタンをクリックすると、 サーバは自動的に再起動します。

以降、ユーザーズガイドにしたがって、インストールを行ってください。

3. リモート通報機能について

BX620 S3 で SAN Boot 機能をご利用の場合には、OSC の専門スタッフが装置の稼動状態を正しく把握する ことができないため、リモート通報機能はご利用になれません。 現状の仕組みでは、故障が発生して予備(待機)ブレードに切替わったとき、リモート通報された障害が切替え 前のブレードで発生したものなのか、または切替え後のブレードで発生したものなのか、特定することができ ない、といった問題が生じます。

4. 「PRIMRGY BX620 S3 サーバブレード 梱包物一覧: B7FH-A147-01」についての訂正事項

訂正 1 本体の箱で型名(タイプ)を確認してください 以下の表に読み替えてください。

型名の表記	タイプ
PGX6233AA	ディスクレスタイプ
□ PGX623 3GS	Windows Server 2003 R2 インストールタイプ
PGX62336S	Windows Server 2003 R2 アレイタイプ-36GB×2 (RAID1)
PGX62337S	Windows Server 2003 R2 アレイタイプ-73GB×2 (RAID1)
PGX6233GV	Windows Server 2003 R2 x64 Edition インストールタイプ
PGX6233GL	Linux インストール代行サービスバンドルタイプ
PGX62336L	Linux インストール代行サービスバンドルタイプ/アレイ-36GB×2(RAID1)
PGX62337L	Linux インストール代行サービスバンドルタイプ/アレイ-73GB×2(RAID1)
PGX6239AA	ディスクレスタイプ
PGX6239GS	Windows Server 2003 R2 インストールタイプ
□ PGX623 9GV	Windows Server 2003 R2 x64 Edition インストールタイプ
□ PGX623 9GL	Linux インストール代行サービスバンドルタイプ

訂正 共通添付品 以下の内容に読み替えてください。

口本体

- ロ『サーバブレード 梱包物一覧』(本紙)

□『環境設定シート』

PRIMERGY ドキュメント&ツール CD

□ アレイコントローラ ドキュメント&ツール CD

訂正 タイプ別添付品 以下の表に読み替えてください。 □ServerStart 一式

- □ ServerStart V6.609D CD-ROM(Disc1)
- □ ServerStart <u>V6.609D</u> CD-ROM(Disc2)
- ServerStart フロッピーディスク
- □ Server Management Tools フロッピーディスク

		•:	添付されて	います・	·:添付され	ていません
添付品の名称	<u>3AA/</u>	<u>3GS/</u>	<u>36S/</u>	<u>3GV/</u>	<u>3GL/</u>	<u>36L/</u>
	<u>9AA</u>	<u>9GS</u>	<u>37S</u>	<u>9GV</u>	<u>9GL</u>	<u>37L</u>
Windows Server 2003 R2(一式) (*)	—			_	_	—
U Windows Server 2003 R2 x64(一式)(*)	-	-	-	•	-	—
Linux(一式)(*)	-	-	—	-	•	•

*)ご購入時に選択された OS が添付されています。

5. 「PRIMRGY BX620 S3 サーバブレード ユーザーズガイド: B7FH-4341-01」についての追記・訂正事項

訂正

項	章	項目	現在の表記	訂正内容
37	2.1.1	表:LAN ケーブルを接続せ	•SBS 2003(Service Pack	(削除)
		ずにインストール(開封)す	1を適用する場合)	
		る場合		
43	2.2	■構築済みの RAID 環境	「論理ドライブの表示」を選	「ディスクの表示」を選択して
		を残してインストールする	択してください。	ください。
		場合		
136	4.3.1	第4章 OSの手動インスト	¥DRIVERS¥ChipSet¥Intel	¥DRIVERS¥ChipSet¥Intel¥
		ール / 9 チップセットドライ	¥E7230¥Setup.exe	5000P¥Setup.exe
		バをインストールします。		
136	4.3.1	第4章 OSの手動インスト	¥DRIVERS¥VIDEO¥ATI¥	¥DRIVERS¥VIDEO¥ES10
		ール / 10 ディスプレイドラ	Radeon¥Setup.exe	00¥Setup.exe
		イバをインストールします。		
139	4.3.2	第4章 OSの手動インスト	¥DRIVERS¥ChipSet¥Intel	¥DRIVERS¥ChipSet¥Intel¥
		ール / 10 チップセットドラ	¥E7230¥Setup.exe	5000P¥Setup.exe
		イバをインストールします。		
139	4.3.2	第4章 OSの手動インスト	¥DRIVERS¥VIDEO¥ATI¥	¥DRIVERS¥VIDEO¥ES10
		ール / 11 ディスプレイドラ	Radeon¥Setup.exe	00¥Setup.exe
		イバをインストールします。		
142	4.3.3	第4章 OSの手動インスト	¥DRIVERS¥ChipSet¥Intel	¥DRIVERS¥ChipSet¥Intel¥
		ール / 9 チップセットドライ	¥E7230¥Setup.exe	5000P¥Setup.exe
		バをインストールします。		
142	4.3.3	第4章 OSの手動インスト	¥DRIVERS¥VIDEO¥ATI¥	¥DRIVERS¥VIDEO¥ES10
		ール / 10 ディスプレイドラ	Radeon¥Setup.exe	00¥Setup.exe
		イバをインストールします。		
153	4.5.1	第4章 OSの手動インスト	¥DRIVERS¥SCSI¥Qlogic	¥DRIVERS¥FCD¥STOR_
		ール / 4.5.1Windows	¥BX600x64	MINOPORI
		Server 2003 x64 の場合		

訂正 1.1 BX600 ブレードサーバのご紹介(関連ページ: P.19)

誤) ● ____

- ●余裕の拡張性
 - ・メモリは、1 サーバブレードに**最大 16GB** まで搭載できます。

正)

- ●余裕の拡張性
 - ・メモリは、1 サーバブレードに最大 32GB まで搭載できます。

誤)

- ●高信頼性の実現
 - <u>PC2-4200 仕様に準拠したメモリ(DDR2 533 SDRAM)</u>による Chipkillメモリ機能およびスペアメ
 <u>モリ</u>機能(メモリの構成による)をサポートし、メモリエラー発生時のデータ修復機能を実現しています。

正)

●高信頼性の実現

PC2-5300 仕様に準拠したメモリ(DDR2 667 SDRAM)による Chipkill™メモリ機能およびミラー リング機能(メモリの構成による)をサポートし、メモリエラー発生時のデータ修復機能を実現しています。

訂正 2.1.1 内蔵オプションの取り付け(関連ページ:P.19)

誤)

■メモリ搭載時の注意

本サーバでは、メモリは
最大 16GB までサポートしますが、使用する OS によって使用可能容量が 異なります。また、サーバは、一部のメモリ領域を PCI リソースに使用するため、使用可能容量に 制限があります。メモリの搭載可能容量と使用可能容量については、次の表を参考にしてください。

OS	搭載メモリ容量	使用可能メモリ容量
Windows 2000 Server	~3GB	搭載メモリ容量と同じ
Windows Server 2003, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Standard Edition	4GB	3GB(搭載メモリ容量-1GB)
Windows 2000 Advanced Server	~7GB	搭載メモリ容量と同じ [注1]
	8GB	7GB(搭載メモリ容量-1GB)
Windows Server 2003, Enterprise Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition	<u>~16GB</u>	搭載メモリ容量と同じ 注1]注2]

[注 1]: 4GB 以上のメモリを搭載する場合は、"Boot.ini" ファイルに/PAE オプションを指定する必要があります (Windows Server 2003 x64 および Windows Server 2003 R2 x64 を除く)。

[注 2]: 8GB よりも多いメモリを搭載する場合は、Microsoft 社から提供されているホットフィックスモジュール(KB907892) を適用する必要があります。ホットフィックスモジュールは ServerStart にも格納されています。詳細は「5.5.1 ホッ トフィックスの適用」(→P.178)を参照してください。

正)

■メモリ搭載時の注意

本サーバでは、メモリは**最大 32GB** までサポートしますが、使用する OS によって使用可能容量が 異なります。また、サーバは、一部のメモリ領域を PCI リソースに使用するため、使用可能容量に 制限があります。メモリの搭載可能容量と使用可能容量については、次の表を参考にしてください。

OS	搭載メモリ容量	使用可能メモリ容量
Windows 2000 Server	~3GB	搭載メモリ容量と同じ
Windows Server 2003, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Standard Edition	4GB	3GB(搭載メモリ容量-1GB)
Windows 2000 Advanced Server	~7GB	搭載メモリ容量と同じ [注1]
	8GB	7GB(搭載メモリ容量-1GB)
Windows Server 2003, Enterprise Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition	<u>~32GB</u>	搭載メモリ容量と同じ ^{[注 1] [注 2]}

[注 1]: 4GB 以上のメモリを搭載する場合は、"Boot.ini" ファイルに/PAE オプションを指定する必要があります (Windows Server 2003 x64 および Windows Server 2003 R2 x64 を除く)。

[注 2]: 8GB よりも多いメモリを搭載する場合は、Microsoft 社から提供されているホットフィックスモジュール(KB907892) を適用する必要があります。ホットフィックスモジュールは ServerStart にも格納されています。詳細は「5.5.1 ホッ トフィックスの適用」(→P.178)を参照してください。

追加 5.6 LAN ドライバの詳細設定[BACS] (関連ページ: P.187) BACS による Teaming 機能について、以下の内容を追加いたします。

Teaming 機能が Broadcom Advanced Control Suite 2」ユーティリティにより使用可能です。以下の手順にてご使用ください。Intel/Broadcom 製品のアダプタを問わず、Teaming が可能です。

■ BACS Teaming の作成手順

1) 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Broadcom」から「Broadcom Control Suite2」を起動します。

Broadcom Advanced Control Suite 2					
- Droadcoh Rovancel Current Suffe 2 ダイルの 美子 サークインターンス ヘルジョン 電子 キャー・フインターフェイス(サマリー) 単型 (DO4) Droadcon SCM2705 NetXtrens II GrE 単型 (DO4) Droadcon SCM2705 NetXtrens II GrE	ハイジルサイン リリース」、 丁度 「第二、 いんクテレス ドライバステークス ドライバステークス ドライバステークス ドライバステークス ドライバステークス ・ マフロード戦略 ネットワークステータス ・ リンクステータス	n-Fウエア 詳細設定 値 00-14-34 FF-00-0 10-554149.9 日-Fila 255107 04/21/2005 L50,00 二重道律 全	ネルワークテスト 話朝 (* デ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	載計 リソースの創切	<u>בוון א</u> נר אנר אנר
BROADCOM. OK キャンセル 逆 ホロバタインアモデレイフを対しつすると単純明複数が素示されます。E1	用 _ ヘルブ 」 レ	7 トレイアイコンの使用 ます.			
「エレントリントリントレンタンシンテンCa主体目は利用のない」でもよう。トリ	A STAC ANAMONOLE	0.70			1

2) 「ツール」-「チームの作成」を選択します。

3) Broadcom チーム化ウィザードの画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。
Broadcom チーム化ウィザード
Interference State
In



4) 「チーム化ウィザード」で任意のチーム名を入力し、「次へ」をクリックします。

Diodacon		
チーム チーム	の作成修正:チーム名 には一意の名前を割り当てる必要があります。	
	チームの名前を入力します。	
	Team 1	
	↓ チーム名の最大長は 39 文字です。名前には、&¥/*?○/ 以外の記号を使用できます。	
	< 戻る(B) 次へ(W) キャンセル	ヘルプ

5) 作成するチームのタイプを指定します。以降は SLB を例に説明します。

1	-4 91
•	Smart Load Balancing(TM) とフェイルオーバー (SLB)
C	Link Aggregation Control Protocol (LACP)を使用した 802.3ad リンク集約
С	FEC/GEC 通有中維
TC se	P Offload Emgine (TOE) support is supported only on an SLB team type. If a team type other than SL ected, no TOP connections will be offloaded.
ſĨ	茂するチームのタイプを決定するときには文立つ情報報を参照するには、ここをクリックしてください。

6) チームに含めるアダプタを指定します。

利用可能なアダプタ		TOE	LSO	CO	
[0048] Broadcom BCM5708	S NetXtreme II GigE	N	Y	Y	
 チーム メンバー	追加 🚽	TOE	LSO	^	

スタンバイメンバーとして利用するかを決定します。

チームにスタンバイ メン	バーが必要な場合は、オプション	でこれを選択します。	
· 282/17 32/17-	は設定しないでください。		
	マタンハイ メンハーとして使用しま	:90	
[0046] B	oadcom BCM5708S NetXtrei	me II GigE	
☐ 自動: (Live	ォールバックはディスエーブル モー ink ではサポートされていません	-ドをイネーブルする)	
スタンバイ メンバーのま	定と自動フォールバックはディス	エーブル モードをイネーブル3	あ方法については、ここをク

- ※ スタンバイメンバーとして使用する場合、自動フォールバックが選択できます。
- ※ 自動フォールバックは、LiveLink ではサポートされません。
- ※ LiveLinkとは、スイッチで発生したネットワークの切断を検出し、リンクが有効になっているチ ームメンバーのみのトラフィックをルーティングするものです。
- 7) LiveLink の設定をします。

Broadcom チーム化ウ	14节-ド	×
チームの作成/f LiveLink を設定	修正:LiveLink の設定 しますか?	
LiveLin	k を設定しますか?	
C (\$(6	
(• <u>[](</u>	ž	
i)	LiveLink は、スイッチで発生したネットワーク接続の切断を検出し、リンクが有効になっているチーム メンバーのみの トラフィックをルーティングします。	
	_ 〈 戻る(B) 〉 次へ(B) 〉 キャンセル / ハルブ	

8) VLAN を作成するかどうかを指定します。

VLAN を作成し	ますか?		
○ (\$()			
· (1(12			

9) 完了をクリックします。

9	• 変更を適用して、Broadcom Advanced C	iontrol Suite 2 (ご戻ります	5	
0	ී Broadcom Advanced Control Suite 2 で	変更をプレビューします。		

10) チームの設定が完了すると、上記で選択した複数のアダプタが、1つの仮想アダプタとして表示されます。IP アドレスはこの仮想アダプタに設定します。

各前 コーニー ネットワークインターフェイス(サマリー)	チームプロパティ 統計	1
● 値 Team1 ● 値 ほどがダブタ ● 見 ほどがダブタ ● 見 75 イマリアダブタ ● 見 75 イマリアダブタ ● しの461 Broadcom BCM5708S NetXtreme II GitE ● しの461 Broadcom BCM5708S NetXtreme II GitE	侍報 チーム名 チームタイプ ドライバ名 ドライバオージョン ドライバ更新日付	値 Team1 スマートロードパランス Bappa92-5ys 6.1.21 04/07/2006
	チームを削除① LiveLink の設定①	チームを設定① VLAN表追加(A) フォールバック(E)
BEOODCOM	₩7 _ ₩ FL	

- チームの削除 「ツール」-「チームの削除」から作成したチームを削除します。
- チームの保存 チーム作成後、「ファイル」ー「チームに名前をつけて保存」により、作成したチームを保存します。

■ チームの復元

あらかじめ保存しておいたチームを「ファイル」ー「チームの復元」により、呼び出します。 その後、「ファイル」ー「適用」を実施して、チームの復元を完了します。

訂正 7.3.2 使用できる CPU と留意事項(関連ページ: P.235)

_____表:使用できる CPU 一覧について、以下の表に読み替えてください。

品名	型名	備考
<u>Xeon プロセッサ 5110 (1.60GHz/4MB)</u>	PG-FG33R	<u>1.60GHz/4MB 用、デュアルコア</u>
<u>Xeon プロセッサ 5130 (2GHz/4MB)</u>	PG-FG33S	<u>2GHz/4MB 用、デュアルコア</u>
<u>Xeon プロセッサ 5148 (2.33GHz/4MB)</u>	PG-FG33V	<u>2.33GHz/4MB 用、デュアルコア</u>
<u>Xeon プロセッサ 5160 (3GHz/4MB)</u>	PG-FG33T	<u>3GHz/4MB 用、デュアルコア</u>
<u>Xeon プロセッサ E5310 (1.60GHz/2x4MB)</u>	PG-FG433	<u>1.60GHz/2x4MB 用、クアッドコア</u>
<u>Xeon プロセッサ X5355 (2.66GHz/2x4MB)</u>	PG-FG435	<u>2.66GHz/2x4MB 用、クアッドコア</u>

表:使用できる CPU 一覧

訂正 7.4.2 使用できるメモリと留意事項(関連ページ:P.241) 表:使用できるメモリー覧について、以下の表に読み替えてください。

まい	(由田)	でキス	イエロ	
कर∵	(史用)	いさつ	ノセリ	一見

品名	型名	備考
拡張 RAM モジュール-1GB	PG-RM1CE	512MB-DDR2 DIMM 2 枚セット
拡張 RAM モジュール-2GB	PG-RM2CE	1GB-DDR2 DIMM 2 枚セット
拡張 RAM モジュール-4GB	PG-RM4CE	2GB-DDR2 DIMM 2 枚セット
<u>拡張 RAM モジュール-8GB</u>	PG-RM8CE	<u>4GB-DDR2 DIMM 2 枚セット</u>

訂正 8.2.6 CPU Configuration サブメニュー (関連ページ: P.271)

表: CPU Configuration サブメニュー画面の項目説明について、以下の表に読み替えてください。

我 OF C Configuration 777—上 画面の項目配列	表:CPU	Configuration	サブメニュー	-画面の項目説明
------------------------------------	-------	---------------	--------	----------

項目	設定値	説明
C1E Support	Disabled(変更禁止)	CPU 内部の設定です。
		<u>注意事項:</u>
		<u>・Xeon プロセッサ 5110(1.60GHz)/Xeon プロセッサ 5130</u>
		<u>(2GHz)Xeon プロセッサ 5160(3GHz)/Xeon プロセッサ 5148</u>
		<u>(2.33GHz)/Xeon E5310(1.60GHz)/Xeon X5355(2.66GHz)を</u>
		<u>搭載している場合、本項目は表示されません。</u>
Hardware Prefetcher	Enabled(変更禁止)	CPU 内部の設定です。
Adjacent Cache Line	 Disabled 	CPU のキャッシュアクセス機能の使用について設定します。
Prefetch	・Enabled(ご購入時)	
Vanderpool Technology	・Disabled(ご購入時)	仮想化技術の使用について設定します。
	 Enabled 	<u>注意事項:</u>
		・本項目は電源投入直後のみ選択できます。再起動時は、選択で
		<u>きません。</u>
Execute Disable Bit	・Disabled(ご購入時)	バッファ・オーバフローを防ぐセキュリティ機能の使用について設
	 Enabled 	定します。
Intel(R) SpeedStep(tm)	 Maximum 	CPU の省電力機能を設定します。
tech.	 Minimum 	この項目は、オプションの <u>Xeon プロセッサ 5110(1.60GHz)/Xeon</u>
	 Automatic 	<u>プロセッサ 5130(2GHz)/Xeon プロセッサ E5310(1.60GHz)</u> の
	・Disabled(ご購入時)	CPU をご使用の場合は未サポートです。
Intel(R) C-STATE tech.	Disabled(変更禁止)	負荷に応じて CPU の状態を移動させて最適な性能・電力状態に
		させる機能を設定します。

訂正 8.2.10 CPU Status サブメニュー (関連ページ P.278) 表: CPU Status サブメニュー画面の項目説明について、以下の表に読み替えてください。

項目	設定値	説明
CPU1 Status	Enabled(変更禁止)	CPU の状態を表示します。
CPU2 Status	Enabled(変更禁止)	CPUの交換後には「Enabled」に設定してくだい。
Hyper-Threading Function	・Disabled (ご購入時) ・Enabled	 1つの CPU を論理的に 2 つの CPU として運用するかどうかを設定します。この設定を有効にすると、CPU の内部資源を有効に使用することにより、パフォーマンスが向上する場合があります。 注意事項: ご使用になる OS およびアプリケーションによっては、ハイパースレッディング機能に対応していないものがあります。「Hyper-Threading」を「Enabled」に設定して使用する場合は、OS ベンダ、アプリケーションベンダに、ハイパースレッディング機能への対応を確認した上で使用してください。 Xeon プロセッサ 5110(1.60GHz)/Xeon プロセッサ5130(2GHz)Xeon プロセッサ5160(3GHz)/Xeon プロセッサ45355(2.66GHz)を エッサ 5148 (2.33GHz) /Xeon プロセッサ

表:CPU Status サブメニュー画面の項目説明

訂正 A 本体仕様 (関連ページ P.340-342)

本体仕様について、以下の表に読み替えてください。

J	頁目	機能・仕様
タイプ		ディスクレスタイプ
型名		PGX6233AA
	タイプ	<u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー 5110</u>
CPU	周波数/	
CIU	キャッシュ	<u>1.00GHZ / 4MB</u>
	搭載数	1(最大 2)
	標準	1GB(512MB メモリ×2 枚)
メモリ	増設単位	1GB / 2GB / 4GB / <u>8GB</u>
	最大容量	<u>32GB(4GB メモリ×8 スロット)</u>
ビデオ RAM	容量	16MB
		VGA チップ: ATI ES1000
グラフィックス	ζ	解像度:640×480、800×600、1024×768、1280×1024
		表示色:解像度、OS などによって異なる
CD-ROMド	ライブ	種類:DVD-ROM ドライブユニット(USB 外付けオプション) [注 1]
2.5 インチス	トレージベイ	2 ベイ(全ベイホットプラグ対応)
	標準	オプション
	増設単位	36GB/73GB(10,000rpm、SAS)
	最大容量	146GB(73GB×2)
ディスクアレ	イ	標準(オンボード SCSI アレイコントローラ)
拡張カード	拡張ボード用	PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×8)×1
スロット	拡張カード用	標準:なし、オプション:PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×4)×1
フロッピーデ	ィスクドライブ	オプション(USB フロッピーディスクドライブ)[注 1]
ネットワーク		LAN(1Gbps) × 2
<i>へ</i> , カフェー・	7	シャーシ[注 2]:キーボード、マウス、モニタ
1/9/1	^	ディスプレイ/USB 拡張ケーブル[注 3]:モニタ、USB×2
外形寸法 (基	単位∶mm)	42×476×286(横幅×奥行き×高さ)(BX600 S2 シャーシ 1 スロット占有)
質量		7.0kg
内蔵時計精	支	誤差 2 ~ 3 分/月
消費電力		<u>最大 413W(最大 1487kJ/h)</u>
電源		DC12V / DC5V(スタンバイ電源) シャーシより供給
		<u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5110 搭載時:c 区分、0.0056</u>
		<u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5130[注 5]搭載時:c 区分、0.0048</u>
エネルギージ	肖費効率 [注 4]	<u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5160[注 5]搭載時:c 区分、0.0031</u>
		<u>クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサーE5310[注 5]搭載時:c 区分、0.0030</u>
		<u>クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサーX5355[注 5]搭載時:c 区分、0.0018</u>
		Windows 2000 Server / Windows 2000 Advanced Server
		Windows Server 2003, Standard Edition / Windows Server 2003, Enterprise Edition
		Windows Server 2003, Standard x64 Edition / Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition
サポート のら		Windows Server 2003 R2, Standard Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition
		Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition
		Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86, v.4 for x86, v.4 for EM64T)
		Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86, v.4 for x86, v.4 for EM64T)
		VMware Infrastructure 3
注 1: 本ブレ	ードサーバシスラ	Fムに最低 1 台必要です。また、DVD-ROM ドライフユニットは、CD-R/RW 機能がありますが、CD
媒体 ^	の書き込み機能	は使用できません。

表:ディスクレスタイプ本体仕様 (1/2)

注 2: シャーシに接続した CRT/KB ケーブル(シャーシに 1 本標準添付)の、キーボード/マウス/ディスプレイの各コネクタに接続されます(各サーバブレードで切り替えて使用します)。

注 3: ディスプレイ/ USB 拡張ケーブル (シャーシに 1本標準添付)を、サーバブレードの前面コネクタに接続して使用します。

注 4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除した

ものです。 注 5: <u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5130、デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5160、クアッドコア イン</u> <u>テル® Xeon® プロセッサーE5310、クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサーX5355</u>はオプションです。

百日		機能・什様			
タイプ		ディスクレスタイプ			
型名		PGX6239AA			
	タイプ	デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー LV 5148			
0.001	周波数/				
CPU	キャッシュ	<u>2.33GHz / 4MB</u>			
	搭載数	1(最大 2)			
	標準	1GB(512MB メモリ×2 枚)			
メモリ	増設単位	1GB / 2GB / 4GB / <u>8GB</u>			
	最大容量	<u>32GB(4GB メモリ×8 スロット)</u>			
ビデオ RAM ¥	容量				
		VGA チップ: ATI ES1000			
グラフィックス		解像度:640×480、800×600、1024×768、1280×1024			
		表示色:解像度、OS などによって異なる			
CD-ROMドラ	イブ	種類:DVD-ROM ドライブユニット(USB 外付けオプション) [注 1]			
2.5 インチスト	レージベイ	2 ベイ(全ベイホットプラグ対応)			
	標準	オプション			
	増設単位	36GB/73GB(10,000rpm、SAS)			
	最大容量	146GB(73GB×2)			
ディスクアレイ		標準(オンボード SCSI アレイコントローラ)			
拡張カード	拡張ボード用	PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×8)×1			
スロット	拡張カード用	標準:なし、オプション:PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×4)×1			
フロッピーディスクドライブ		オプション(USB フロッピーディスクドライブ)[注1]			
ネットワーク		LAN(1Gbps) × 2			
インタフェース		シャーシ[注 2]:キーボード、マウス、モニタ			
		ディスプレイ/USB 拡張ケーブル[注3]:モニタ、USB×2			
外形寸法 (単	位:mm)	42×476×286 (横幅×奥行き×高さ)(BX600 S2 シャーシ1 スロット占有)			
質量		7.0kg			
内蔵時計精度		誤差2~3分/月			
消費電力		<u>最大 233W(最大 839kJ/h)</u>			
電源		DC12V / DC5V(スタンバイ電源) シャーシより供給			
エネルギー消	費効率 [注 4]	<u>c区分、0.0038</u>			
		Windows 2000 Server / Windows 2000 Advanced Server			
		Windows Server 2003, Standard Edition / Windows Server 2003, Enterprise Edition			
		Windows Server 2003, Standard x64 Edition / Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition			
サポート OS		Windows Server 2003 R2, Standard Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition			
		Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition			
		Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86, v.4 for x86, v.4 for EM64T)			
		Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86, v.4 for x86, v.4 for EM64T)			
		VMware Infrastructure 3			

表:ディスクレスタイプ本体仕様 (2/2)

注 1: 本ブレードサーバシステムに最低 1 台必要です。また、DVD-ROM ドライブユニットは、CD-R/RW 機能がありますが、CD 媒体への書き込み機能は使用できません。

注 2: シャーシに接続した CRT/KB ケーブル(シャーシに 1 本標準添付)の、キーボード/マウス/ディスプレイの各コネクタに接続されます(各サーバブレードで切り替えて使用します)。

注 3: ディスプレイ/ USB 拡張ケーブル (シャーシに 1本標準添付)を、サーバブレードの前面コネクタに接続して使用します。

注 4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

	z a	2.1111001100					
1	<u> </u> 自		機能▪	仕様			
タイプ		Windows Server 2003 R2 タイプ	Windows Server 2003 R2 x64 タイプ	Windows Server 2	003 R2 アレイタイプ		
型名		PGX6233GS	PGX6233GV	PGX62336S	PGX62337S		
	タイプ	デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー 5110					
CPU	周波数/ キャッシュ	1.60GHz / 4MB					
	搭載数		1(最大	た 2)			
	標準		1GB(512MB	メモリ×2 枚)			
メモリ	増設単位		1GB / 2GB /	4GB / 8GB			
	最大容量		32GB(4GB メモ	リ×8 スロット)			
ビデオ RAM	容量		16N	/B			
			VGA チップ:	ATI ES1000			
グラフィックス	ζ	留		$1024 \times 768, 1280 \times 1020$	24		
			表示色:解像度、OS	などによって異なる			
CD-ROM F	ライブ	種類:	DVD-ROM ドライブユニット	(USB 外付けオプション)	[注 1]		
2.5 インチス	トレージベイ		2 ベイ(全ベイホ	ットプラグ対応)			
	標準	36G	B×1	36GB×2	73GB×2		
	増設単位		36GB/73GB(10	.000rpm, SAS)			
	最大容量	146GB(73GB x 2)					
ディスクアレ	 イ	標準 (オンボード SCSI アレイコントローラ)					
拡張カード	拡張ボード用	P	CI-X 64bit/133MHz × 1. ≢	t-1 PCI-Express(×8)×	:1		
スロット	拡張カード用	標準:なし、フ	トプション: PCI-X 64bit/133N	MHz×1、または PCI-Expr	$ess(\times 4) \times 1$		
フロッピーデ	ィスクドライブ	オプション(USB フロッピーディスクドライブ)[注1]					
ネットワーク		LAN(1Gbps) × 2					
		<u>シャーシ[注 2]:キーボード、マウス、モニタ</u>					
インタフェーン	ス	ディスプレイ/USB 拡張ケーブル[注 3]:モニタ. USB×2					
外形寸法 (重	単位:mm)	42×476×	286 (横幅×奥行き×高さ)	(BX600 S2 シャーシ1 ス	.ロット占有)		
質量	,		7.0	ka			
内蔵時計精		誤差 2 ~ 3 分/月					
消費電力		最大 413W(最大 1487kJ/h)					
電源							
		デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5110 搭載時:c 区分、0.0056					
		デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5130[注 5]搭載時:c 区分、0.0048					
エネルギージ	肖費効率 [注 4]	デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5160[注 5]搭載時:c 区分、0.0031					
		デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサーE5310[注 5]搭載時:c 区分、0.0030					
		デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサーX5355[注 5]搭載時:c 区分、0.0018					
		W	indows 2000 Server / Wind	ows 2000 Advanced Ser	ver		
		Windows Serve	er 2003, Standard Edition /	Windows Server 2003, E	nterprise Edition		
		Windows Server 20	03, Standard x64 Edition /	Windows Server 2003, Er	nterprise x64 Edition		
##~b 0S		Windows Server 20	003 R2, Standard Edition /	Windows Server 2003 R2	2, Enterprise Edition		
776 1.00		Windows Server 2003 F	R2, Standard x64 Edition /	Windows Server 2003 R2	2, Enterprise x64 Edition		
		Red Hat	Enterprise Linux ES (v.3 fo	or x86、v.4 for x86、v.4 for	r EM64T)		
		Red Hat	Enterprise Linux AS (v.3 fo	or x86、v.4 for x86、v.4 for	⁻ EM64T)		
		VMware Infrastructure 3					

表: Windows Server 2003 タイプ本体仕様 (1/2)

注 1: 本ブレードサーバシステムに最低 1 台必要です。また、DVD-ROM ドライブユニットは、CD-R/RW 機能がありますが、CD 媒体への書き込み機能は使用できません。

注 2: シャーシに接続した CRT/KB ケーブル(シャーシに 1 本標準添付)の、キーボード/マウス/ディスプレイの各コネクタに接続されます(各サーバブレードで切り替えて使用します)。

注 3: ディスプレイ/ USB 拡張ケーブル (シャーシに 1本標準添付)を、サーバブレードの前面コネクタに接続して使用します。

注 4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除した ものです。

注 5: <u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5130、デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5160、クアッドコア イン</u> <u>テル® Xeon® プロセッサーE5310、クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサーX5355</u>はオプションです。

項目		機能・				
タイプ		Windows Server 2003 R2 タイプ	Windows Server 2003 R2 x64 タイプ			
型名		PGX6239GS	PGX6239GV			
	タイプ	デュアルコア インテル® Xec	on® プロセッサー LV 5148			
CPU	周波数/	2 33GHz / 4MB				
	キャッシュ					
	搭載数	1(最大 2)				
	標準	1GB(512MB	メモリ×2 枚)			
メモリ	増設単位	1GB / 2GB /	4GB / <u>8GB</u>			
	最大容量	<u>32GB(4GB メモ</u>	<u>.リ×8 スロット)</u>			
ビデオ RAM 羽	室量	16N	ЛВ			
		VGA チップ:/	ATI ES1000			
グラフィックス		解像度:640×480、800×600	0、1024×768、1280×1024			
		表示色∶解像度、OS	などによって異なる			
CD-ROMドラ	イブ	種類:DVD-ROM ドライブユニット	(USB 外付けオプション) [注 1]			
2.5 インチスト	レージベイ	2 ベイ(全ベイホ	ットプラグ対応)			
	標準	36GI	3×1			
	増設単位	36GB/73GB(10,000rpm、SAS)				
	最大容量	146GB(73	GB×2)			
ディスクアレイ		標準 (オンボード SCS	SI アレイコントローラ)			
拡張カード	拡張ボード用	PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×8)×1				
スロット	拡張カード用	標準:なし、オプション:PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×4)×1				
フロッピーディスクドライブ		オプション(USB フロッピ-	ーディスクドライブ)[注 1]			
ネットワーク		LAN(1GI	ops) × 2			
インタフェース		シャーシ[注 2]:キーボード、マウス、モニタ				
12772 7		ディスプレイ/USB 拡張ケーブル[注 3]:モニタ、USB×2				
外形寸法 (単	位 : mm)	42×476×286(横幅×奥行き×高さ)(BX600 S2 シャーシ 1 スロット占有)				
質量		7.0kg				
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分/月				
消費電力		<u>最大 233W(最大 839kJ/h)</u>				
電源		DC12V / DC5V(スタンバイ電源) シャーシより供給				
エネルギー消	費効率 [注 4]	<u>c 区分、</u>	<u>0.0038</u>			
		Windows 2000 Server / Windows 2000 Advanced Server				
		Windows Server 2003, Standard Edition /	Windows Server 2003, Enterprise Edition			
		Windows Server 2003, Standard x64 Edition /	Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition			
サポート 0.5		Windows Server 2003 R2, Standard Edition /	Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition			
		Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition /	Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition			
		Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for	or x86、v.4 for x86、v.4 for EM64T)			
		Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for	or x86、v.4 for x86、v.4 for EM64T)			
		VMware Infra	astructure 3			

表: Windows Server 2003 タイプ本体仕様 (2/2)

注 1: 本ブレードサーバシステムに最低 1 台必要です。また、DVD-ROM ドライブユニットは、CD-R/RW 機能がありますが、CD 媒体への書き込み機能は使用できません。

注 2: シャーシに接続した CRT/KB ケーブル(シャーシに 1 本標準添付)の、キーボード/マウス/ディスプレイの各コネクタに接続されます(各サーバブレードで切り替えて使用します)。

注 3: ディスプレイ/ USB 拡張ケーブル (シャーシに 1本標準添付)を、サーバブレードの前面コネクタに接続して使用します。

注 4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

項目		機能・仕様					
タイプ		Linux インストール代行サービ スパンドルタイプ Linux インストール代行サービスバンドルタイプ /アレ		-ビスバンドルタイプ /アレイ			
型名		PGX6233GL	PGX62336L	PGX62337L			
	タイプ	デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー 5110					
CPU 周波数/ think		<u>1.60GHz / 4MB</u>					
	イヤリノユ	1(最大 2)					
	酒戰 奴 煙淮	()取入 2/ 1GB(512MB メ∓川×2 枚)					
メモリ			1GB / 2GB / 4GB / 8GB				
, ,,	- ¹¹ 10 平位 - 最大		32GB(4GB XTUX8 ZDwb)				
ビデオ RAM			16MB				
			VGA チップ・ATLES1000				
グラフィックス			0 × 480 800 × 600 1024 × 768 1	280 × 1024			
		·····································	一元色・解像度 OSなどによって異な	3			
CD-ROMドラ	イブ	種類:DVD-RO	M ドライブユニット(USB 外付けオフ				
2.5 インチスト	レージベイ		2 ベイ(全ベイホットプラグ対応)				
	標準	36GB×1	36GB×2	73GB×2			
	増設単位		36GB/73GB(10,000rpm, SAS)				
	最大容量		146GB(73GB×2)				
ディスクアレイ		標準	〔(オンボード SCSI アレイコントロー	- ラ)			
拡張カード	拡張ボード用	PCI-X 64b	it/133MHz×1、または PCI-Express(×8)×1				
スロット	拡張カード用	標準:なし、オプション:	:PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×4)×1				
フロッピーディ	スクドライブ	オプショ	いいいいしょう マロッピーディスクドライブ)[注1]			
ネットワーク			LAN(1Gbps) × 2				
い ゆつ エーフ		シャーシ[注 2]:キーボード、マウス、モニタ					
17771-7		ディスプレィ	イ/USB 拡張ケーブル[注3]:モニ	× USB×2			
外形寸法 (単	位 : mm)	42×476×286(横	幅 × 奥行き × 高さ) (BX600 S2 シャ・	ーシ1 スロット占有)			
質量			7.0kg				
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分/月					
消費電力		<u>最大 413W(最大 1487kJ/h)</u>					
電源		DC12V / DC5V (スタンバイ電源) シャーシより供給					
		<u> デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5110 搭載時:c区分、0.0056</u>					
1 . 1 ×		<u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5130[注 5]搭載時:c区分、0.0048</u>					
エネルキー消	費効率 [注 4]	<u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5160[注 5]搭載時:c 区分、0.0031</u>					
		<u>デュアルコア インテル® Xeon® ブロセッサーE5310[注 5]搭載時:c 区分、0.0030</u>					
		<u>デュアルコア インテル® Xeon® ブロセッサーX5355[注 5]搭載時:c 区分、0.0018</u>					
		Windows Sonver 2003	2000 Server / Windows 2000 Advar	2002 Enterprise Edition			
		Windows Server 2003, Stand	land x64 Edition / Windows Server	2003, Enterprise Edition			
		Windows Server 2003, Start	Standard Edition / Windows Server	2003 P2 Enterprise Edition			
サポート OS		Windows Server 2003 R2, Stand	lard x64 Edition / Windows Server	2003 R2 Enterprise x64 Edition			
		Red Hat Enternio	se Linux FS (v 3 for x86, v 4 for x8	6. v 4 for FM64T			
		Red Hat Enterpris	se Linux AS (v.3 for x86, v.4 for x8	6. v.4 for EM64T)			
		VMware Infrastructure 3					
 注 1: 本ブレードサーバシュ=		」					

表:Linux タイプ本体仕様 (1/2)

注 1: 本フレードサーバシステムに最低 1 台必要です。また、DVD-ROM ドライフユニットは、CD-R/RW 機能がありますが、CE 媒体への書き込み機能は使用できません。

注 2: シャーシに接続した CRT/KB ケーブル(シャーシに 1 本標準添付)の、キーボード/マウス/ディスプレイの各コネクタに接続されます(各サーバブレードで切り替えて使用します)。

注 3: ディスプレイ/ USB 拡張ケーブル (シャーシに 1本標準添付)を、サーバブレードの前面コネクタに接続して使用します。

注 4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除した ものです。

注 5: <u>デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5130、デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー5160、クアッドコア イン</u> <u>テル® Xeon® プロセッサーE5310、クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサーX5355</u>はオプションです。

項目		機能·仕様			
タイプ		Linux インストール代行サービスバンドルタイプ			
型名		PGX6239GL			
	タイプ	デュアル⊐ア インテル® Xeon® プロセッサー LV 5148			
0.001	周波数/				
CPU	キャッシュ	<u>2.33GHz / 4MB</u>			
	搭載数	1(最大 2)			
	標準	1GB(512MB メモリ×2 枚)			
メモリ	増設単位	1GB / 2GB / 4GB / <u>8GB</u>			
	最大容量	<u>32GB(4GB メモリ×8 スロット)</u>			
ビデオ RAM ¥	容量				
		VGA チップ: ATI ES1000			
グラフィックス		解像度:640×480、800×600、1024×768、1280×1024			
		表示色:解像度、OS などによって異なる			
CD-ROMドラ	イブ	種類:DVD-ROM ドライブユニット(USB 外付けオプション) [注 1]			
2.5 インチスト	レージベイ	2 ベイ(全ベイホットプラグ対応)			
	標準	36GB×1			
	増設単位	36GB/73GB(10,000rpm、SAS)			
	最大容量	146GB(73GB×2)			
ディスクアレイ		標準(オンボード SCSI アレイコントローラ)			
拡張カード 拡張ボード用 スロット 拡張カード用		PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×8)×1			
		標準:なし、オプション:PCI-X 64bit/133MHz×1、または PCI-Express(×4)×1			
フロッピーディスクドライブ		オプション(USB フロッピーディスクドライブ)[注 1]			
ネットワーク		LAN(1Gbps) × 2			
インタフェース		シャーシ[注 2]:キーボード、マウス、モニタ			
		ディスプレイ/USB 拡張ケーブル[注 3]:モニタ、USB×2			
外形寸法 (単	位:mm)	42×476×286 (横幅×奥行き×高さ)(BX600 S2 シャーシ1 スロット占有)			
質量		7.0kg			
内蔵時計精度		誤差2~3分/月			
消費電力		<u>最大 233W(最大 839kJ/h)</u>			
電源		DC12V / DC5V(スタンバイ電源) シャーシより供給			
エネルギー消	費効率 [注 4]	<u>c区分、0.0038</u>			
		Windows 2000 Server / Windows 2000 Advanced Server			
		Windows Server 2003, Standard Edition / Windows Server 2003, Enterprise Edition			
		Windows Server 2003, Standard x64 Edition / Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition			
サポート のら		Windows Server 2003 R2, Standard Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition			
		Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition			
		Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86, v.4 for x86, v.4 for EM64T)			
		Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86, v.4 for x86, v.4 for EM64T)			
		VMware Infrastructure 3			

表:Linux タイプ本体仕様 (2/2)

注 1: 本ブレードサーバシステムに最低 1 台必要です。また、DVD-ROM ドライブユニットは、CD-R/RW 機能がありますが、CD 媒体への書き込み機能は使用できません。

注 2: シャーシに接続した CRT/KB ケーブル(シャーシに 1 本標準添付)の、キーボード/マウス/ディスプレイの各コネクタに接続されます(各サーバブレードで切り替えて使用します)。

注 3: ディスプレイ/ USB 拡張ケーブル (シャーシに 1本標準添付)を、サーバブレードの前面コネクタに接続して使用します。

注 4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 5: <u>デュアルコア インテル®Xeon®プロセッサー5130、デュアルコア インテル®Xeon®プロセッサー5160</u>はオプションです。

POINT

VMware をご使用時になる場合、ServerView や RAID 管理ツールは、下記 VMware 製品に添付され ているものを使用します。 ・「VMware Infrastructure 3 Media Kit(B515VB3B0)」 なお、下記 URL からもダウンロードできます。 http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/

訂正 B.1CPU の仕様(関連ページ:P343)

表:CPU 仕様について、以下の表に読み替えてください。

表:CPU 仕様						
項目			お	幾能・仕様		
	Xeon プロセッサ	Xeon プロセッサ	Xeon プロセッサ	Xeon プロセッサ	<u>Xeon プロセッサ</u>	Xeon プロセッサ
品名	<u>5110</u>	<u>5130</u>	<u>5160</u>	<u>5148</u>	E5310	<u>X5355</u>
	(1.60GHz/4MB)	(2GHz/4MB)	(3GHz/4MB)	(2.33GHz/4MB)	(1.60GHz/2x4MB)	(2.66GHz/2x4MB)
型名	PG-FG33R	PG-FG33S	PG-FG33T	PG-FG33V	PG-FG433	PG-FG435
動作クロック	<u>1.60GHz</u>	2GHz	<u>3GHz</u>	2.33GHz	<u>1.60GHz</u>	<u>2.33GHz</u>
内蔵2次キャッシュ						
サイズ	<u>4MB</u> <u>2x4MB</u>				<u>4IMB</u>	
フロントサイドバス	1066MHz		1333MHz		1066MHz	1333MHz

訂正 B.2 メモリの仕様(関連ページ:P344)

表:メモリ仕様について、以下の表に読み替えてください。

表:メモリ仕様

項目	機能・仕様					
品名	拡張 RAM モジュール-1GB 拡張 RAM モジュール-2GB 拡張 RAM モジュール-4GB			<u>拡張 RAM モジュール-8GB</u>		
型名	PG-RM1CE PG-RM2CE		PG-RM4CE	PG-RM8CE		
構成品	512MB FB-DIMM×2枚 1GB FB-DIMM×2枚		2GB FB-DIMM×2 枚	<u>4GB FB-DIMM × 2 枚</u>		
容量	1GB 2GB		4GB	<u>8GB</u>		
動作クロック周波数	<u>667MHz</u>					
ピン数	240 ピン					

6. <u>最新の環境設定シート</u>

本製品には全タイプ共通で『環境設定シート』(紙)が1 部添付されています。障害復旧や定期保守の円滑化 のために、お客様のシステム構成を記録していただくようお願いいたします。 なお、ドキュメント&ツール CD に格納されている電子データの環境設定シートは最新ではありません。 最新情報は、上述の紙の環境設定シート、および、インターネット情報ページ (http://primeserver.fujitsu.com/primergy/)内の『カタログ・資料』 – 『マニュアル ダウンロード』から最新の環 境設定シートをダウンロードしてご使用くださいますようお願いいたします。

7. オプション製品の増設についての補足事項

PRIMERGY を安定してご使用いただくため、オプション製品(内蔵/外付けオプションおよび USB 機器等)の 増設時は、システム構成図に記載されている製品を使用ください。弊社指定以外のオプション製品をご使用 いただく場合、弊社において、サーバ製品の動作保証は一切しかねますので、ご注意願います。

以上

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

CA92276-5780-03

Notes on using the PRIMERGY BX620 S3

Thank you for purchasing the PRIMERGY BX620 S3 from us. Before you start using your server, please carefully read the additional notes described below.

January, 2007 Fujitsu Limited

1. Procedure after SAS module replacement

1-1 Integrated Mirror SAS

If your server is on RAID 1 by the onboard Integrated Mirroring SAS function and your system board is replaced due to a defect, you must rebuild logical drives on the array controller in order to restore HDD integrity, which is lost when the board is replaced.

The non-volatile RAM in the SAS module retains integrity record regarding whether past write attempts were successful. Using the supplied maintenance tool, you can back it up before SAS module replacement, and restore it later. If the backup and restoration are successful, there is no need for initialization.

If the SAS module or server blade defect is so severe that the system cannot start, however, you must run initialization in order to reestablish data integrity. Likewise, if data integrity cannot be verified despite a successful NVRAM restoration, you must run initialization.

Initialization or rebuilding, in this context, refers to background data synchronization between two hard disks.

1-1-1 Note on initialization

Integrated Mirroring SAS logical drives are initialized in the background, and HDDs can be accessed while being initialized. However, the I/O performance of the disks being initialized may not be sufficient - up to 54% deterioration is possible.

When the OS is running, HDDs being initialized have their front HDD failure LEDs blinking, just as they do when they are being rebuilt. If ServerView is installed, the front and rear system identification LEDs are turned on. When initialization is completed, they are turned out. Pay attention to the status of each device also by the means of the ServerView console.

Initialization is put on hold in case of a server reset or power disconnection, and can be picked up where it is left off.

Until initialization is completed, RAID 1 logical drives remain non-redundant.

Use ControllerView of the GAM utilities, and check the Status of the Logical Drive Information. A successfully completed initialization process is identified as online. Incomplete initialization is identified as Critical.

Check the next section for the expected initialization time. If you suspect the initialization is taking too long, contact the support office listed in the Start Guide.

For information on usage of the GAM Utility Tools, refer to Chapter 5, "Using GAM" in the *Integrated Mirroring SAS User's Guide.*

1-1-2 Estimated time for rebuilding RAID

Where no hard disk is being accessed, the estimated times for disk initialization are as listed below.

Each value is the total duration of OS running time; i.e., it excludes duration for power outage. Initialization may take longer if executed while hard disks are being accessed.

	No load	Heavy load
36GB	1.5 hours	6 hours
73GB	3 hours	12 hours
	36GB 73GB	No load36GB1.5 hours73GB3 hours

*: Heavy load refers to a constant state of heavy HDD access.

*: These values are presented for reference purposes only; actual time may differ depending on your system environment.

2. <u>Note on Windows 2000 Server installation using the SP4 integrated CD-ROM via a USB CD-ROM</u> <u>drive</u>

Note

The following STOP error may be displayed at the post-installation restart of Windows 2000 Server using the SP4 integrated CD-ROM from the USB CD drive:

STOP: 0x0000001E(0xC0000005 、0xF3EC39F5 、0x00000000 、0x01010100) KMODE_EXCEPTION_NOT_HANDLED

(For details refer to KB838417 at the Microsoft website, http://support.microsoft.com/ To work around this problem, use the following procedure to install or reinstall the OS.)

OS installation using ServerStart

- 1. Boot ServerStart from the USB CD-ROM drive. Follow the procedure in Chapter 3 in the User's Guide.
- Click Initiate Windows 2000 installation. Follow the screen instructions of ServerStart Automatic Installation Mode, change the CD-ROM several times, until the following message appears in the end.

The system will be restarted,

please remove any disks from the floppy disk and the CD-ROM drives.

[OK]

Wait until the USB CD drive access lamp goes out. Remove the USB cable from the connector, and completely isolate the drive from the server.

3. Click the OK button in step 2. The server restarts.

OS installation starts automatically. Follow the screen instructions.

Manual OS installation procedure

- 1. Follow Chapter 4 in the User's Guide to initiate installation from the USB CD drive.
- 2. In the last installation phase, the following message is displayed:

Completing the Windows 2000 Setup Wizard You have successfully completed Windows 2000 Setup. If there is a CD in your drive, remove it. Then, to restart your computer, click Finish. [Finish]

Wait until the USB CD drive access lamp goes out. Remove the USB cable from the connector, and completely isolate the drive from the server.

3. Click the OK button in step 2. The server restarts.

Follow the User's Guide to continue with the rest of the installation procedure.

3. <u>Corrections and additions to the User's Guide: B7FH-4341-01EN-00</u>

Correction

The following correction is made to the User's Guide.

Page	Section	Item	Current description	Correct description
41	2.3.6	Cautions for Manual Installation	[CD-ROM drive]: ¥HOTFIX¥W2K¥	[CD-ROM drive]: ¥HOTFIX¥Essential ¥W2K¥
122	4.4.1	Windows Server 2003 x64	¥DRIVERS¥SCSI¥Qlogic¥BX600x64	¥DRIVERS¥FCD¥STOR_MINOPORT
146	5.5.1	Applying the Hotfix	For Windows Server 2003 [CD-ROM drive]: ¥HOTFIX¥W2K3 For Windows Server 2003 x64 [CD-ROM drive]: ¥HOTFIX ¥W2K3x64	 For Windows Server 2003 [CD-ROM drive]: ¥HOTFIX¥Essential ¥W2K3 For Windows Server 2003 x64 [CD-ROM drive]: ¥HOTFIX¥Essential ¥W2K3x64
146	5.5.1	Applying the Hotfix	[CD-ROM drive]: ¥HOTFIX¥W2K¥	[CD-ROM drive]: ¥HOTFIX¥Essential ¥W2K¥

Correction 1.1 BX600 Blade Server (p.17)

False:

- High Scalability
 - Up to **<u>16GB</u>** of memory can be installed for each server blade.

True:

- High Scalability
 - Up to <u>32GB</u> of memory can be installed for each server blade.

False:

- High Reliability
 - The server supports the Chipkill function using <u>PC2-4200-compliant memory (DDR2 533</u> <u>SDRAM</u>) and the <u>spare memory</u> function (depending on the memory configuration) to enable data recovery in the event of a memory error.

True:

- High Reliability
 - The server supports the Chipkill function using <u>PC2-5300-compliant memory (DDR2 667</u> <u>SDRAM</u>) and the <u>memory mirroring</u> function (depending on the memory configuration) to enable data recovery in the event of a memory error.

Correction 2.1.1 Installing Internal Options (p.33)

False:

Cautions for Installing a Memory Module

This server blade supports up to <u>16GB</u>. However, the installable size varies depending on the OS being used. Furthermore, since the server uses part of the memory as PCI resources, the maximum available size is limited.

The following shows the maximum installable size and the maximum available size.

table: Maximum Installable Size and Maximum Available Size

OS	Installed memory size	Available memory size
Windows 2000 Server Windows Server 2003, Standard Edition	Up to 3GB	Same as the installed memory size
Windows Server 2003 R2, Standard Edition	4GB	3GB (installed memory size-1GB)
Windows 2000 Advanced Server	Up to 7GB	Same as the installed memory size *1
	8GB	7GB (installed memory size-1GB)
Windows Server 2003, Enterprise Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition	Up to <u>16GB</u>	Same as the installed memory size *1 *2

*1: When installing 4GB or more of memory in a server, the /PAE option in the "Boot.ini" file must be specified (except Windows Server 2003 x64, Windows Server 2003 R2 x64).

*2: When installing 8GB or more of memory in a server, apply the hotfix module (KB907892) provided from Microsoft. The hotfix module is also stored in the ServerStart CD-ROM. True:

Cautions for Installing a Memory Module

This server blade supports up to <u>32GB</u>. However, the installable size varies depending on the OS being used. Furthermore, since the server uses part of the memory as PCI resources, the maximum available size is limited.

The following shows the maximum installable size and the maximum available size.

OS	Installed memory	Available memory size
	size	
Windows 2000 Server	Up to 3GB	Same as the installed memory
Windows Server 2003, Standard Edition		size
Windows Server 2003 R2, Standard Edition	4GB	3GB
		(installed memory size-1GB)
Windows 2000 Advanced Server	Up to 7GB	Same as the installed memory
		size *1
	8GB	7GB
		(installed memory size-1GB)
Windows Server 2003, Enterprise Edition	Up to <u>32GB</u>	Same as the installed memory
Windows Server 2003, Standard x64 Edition		size *1 *2
Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition		
Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition		
Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition		
Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition		

table: Maximum Installable Size and Maximum Available Size

*1: When installing 4GB or more of memory in a server, the /PAE option in the "Boot.ini" file must be specified (except Windows Server 2003 x64, Windows Server 2003 R2 x64).

*2: When installing 8GB or more of memory in a server, apply the hotfix module (KB907892) provided from Microsoft. The hotfix module is also stored in the ServerStart CD-ROM.

Addition 5.6 LAN Driver Advanced Setup [BACS] (p.151)

Regarding teaming by BACS, the following description is added:

You can create a team using the Broadcom Advanced Control Suite 2 utility in the procedure described below. A team can contain both Intel and Broadcom adapters.

- How to make a BACS Team.
 - 1) Go to [Start]-[All Programs]-[Broadcom], and launch Broadcom Control Suite2.

🔍 Broadcom Advanced Control Suite 2		1			
Elle View Tools Help					
RFordArom Advanced Control Suite 2 Efe (jew Tools Bio Name Singe State 2 Singer State	VRd Sign Resources Madwate Advanced Network Text Diagnostics Statistics Resource Allocations Licenses MAC Address 0018-36-1F 0F-71 Permonent MAC Address 0018-36-1F 0F-71 Permonent MAC Address 123-821-105 Driver Name backdown Loaded Driver Name Dodds of the Driver Name Driver Name backdown Driver Name Dodds of the Driver Name Driver Name Driver Name backdown Driver Name Dodds of the Driver Name Driver Name Driver Name backdown Driver Name Dodds of the Driver Name Driver Name Driver Name backdown Driver Name Dodds of the Driver Name Driver Name Metwork Statuz Exercise Speed 1000 Mbps Duplex Full				
	pp) Help IF Enable Tay Icon				
view detailed information or to run a particular test on a selected adapter, cick the appropriate tab.					

2) Select [Tools]-[Create a Team]

3) Click Next in the Broadcom Teaming Wizard window.

Broadcom Teaming Wizard
Welcome to the Broadcom Teaming Wizard
The Broadcom Teaming Wizard will guide you through the process of creating and modifying teams and/or VLANs. To continue, click Next. To work without the wizard, click Expert Mode.
Expert Mode
Note: Current work in the Teaming Wizard will be lost when Expert Mode is clicked.
To always start in Expert Mode, check the "Default to Expert Mode on next start" checkbox.
Default to Expert Mode on next start
To continue, click Next.
< Back Next > Cancel Help

4) Enter a team name, and click Next.

Broadcom Leaming Wizard	
Creating/Modifying a Team: Team Name You must assign your team a unique name.	
Enter the name for the team:	
Team 1	
A team name has a maximum length of 39 characters. The name can use any symbolic character except &∿*?⇔ *	
<u> < B</u> ack <u>N</u> ext> Cancel Help	

5) Select a team type; the figure below shows an example of SLB.

Broadcom Teaming Wizard	×
Creating/Modifying a Team: Team Type Select the type of team you want to create.	
Team lype:	
Smart Load Balancing(TM) and Failover (SLB)	
O 802.3ad Link Aggregation using Link Aggregation Control Protocol (LACP)	
C FEC/GEC Generic Trunking	
TCP Offload Engine (TOE) support is supported only on an SLB team type. If a team type other than SLB is selected, no TCP connections will be offloaded.	
Click here for information to help you decide which type of team to create,	
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext> Cancel Help	

6) Specify which adapters to include in the team.

Broadcom Teaming Wizard				×
Creating/Modifying a Team: Assigning Team Members Specify which adapters to include in the team.				
Available Adapters	TOE	LSO	CO	1
(10050) Broadcom BCM5708S NeWtreme II GigE (10051) Broadcom BCM5708S NeWtreme II GigE	N N	Y Y	Y Y	
Add V Berrov	'e	t		-
Team Members	TOE	LSO	CO	
Click here for more information about configuring teaming.				
< <u>₿</u> ack <u>N</u> ext>	Ca	ncel	Help	

Select if you want a standby member for the team.

g/Modifying a Team: Designating a Standby Member want to designate an available adapter as a standby member? Optionally select if you want a standby member for the team. © Do not configure a standby member; © Use the following member as a standby member: [0050] Broadcom BCM5703S Ne&treme II GigE [0050] Broadcom BCM5703	n Tea	ming Wizard
Optionally select if you want a standby member for the team.	g/M wai	odifying a Team: Designating a Standby Member nt to designate an available adapter as a standby member?
Optionally select if you want a standby member for the team.		
Do not configure a standby member; Use the following member as a standby member: [0050] Broadcom BCM5708S Net/Rreme II GigE Enable Auto-Fallback Disable mode (Not supported by LiveLink.) Click here for information about designating a standby member and enabling Auto-Fallback Disable	0	ptionally select if you want a standby member for the team.
Use the following member as a standby member: [0050] Broadcom BCM5708S Ne0Greene II GigE Enable Auto-Fallback Disable mode (Not supported by LiveLink.) Click here for information about designating a standby member and enabling Auto-Fallback Disable	6	Do not configure a standby member.
[0050] Broadcom BCM5708S Ne00reme II GigE Enable Auto Fallback Disable mode (Not supported by LiveLink.) Click here for information about designating a standby member and enabling Auto-Fallback Disable	0	Use the following member as a standby member:
Enable Auto-Fallback Disable mode (Not supported by LiveLink) Click here for information about designating a standby member and enabling Auto-Fallback Disable		[0050] Broadcom BCM5708S NetXtreme II GigE
(Not supported by LiveLink) Click here for information about designating a standby member and enabling Auto-Fallback Disable		Enable Auto-Fallback Disable mode
Click here for information about designating a standby member and enabling Auto-Fallback Disable		(Not supported by LiveLink)
	- -	ick here for information about designation a standbu member and enabling Auto-Fallback Disable
	<u> </u>	ok here to hindmation about designating a standby member and enabling Autor alloack bisable t
		K Back Nexts Cancel Hi
(Bank Next) Cancel H		

- X You can enable the Auto-Fallback Disable mode if you create a standby member.
- * The Auto-Fallback Disable mode is not supported by LiveLink.
- X LiveLink detects loss of network connectivity beyond the switch and routes traffic only through team members that have a live link.
- 7) Select if you configure LiveLink.

Broadcom Teaming Wizard	×
Creating/Modifying a Team: Configuring LiveLink Do you want to configure LiveLink?	
Configure LiveLink?	
C Yes	
○ No	
LiveLink detects loss of network connectivity beyond the switch and routes traffic only through team members that have a live link.	
< <u>B</u> ack Next> Cancel Help	

8) Specify whether you want to create a VLAN.

Broadcom Teaming Wizard				×
Creating/Modifying a VLAN: Configure Specify whether you want to create a ¹	e VLAN Supp VLAN.	oort		
Create a VLAN?				
O Yes				
• No				
	< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel	Help

9) Click Finish.

roadcom Teami	ıg Wizard
Congratulation How would yo	ıs! The Teaming Wizard has finished collecting information. u like to proceed?
۰C	mmit changes and return to Broadcom Advanced Control Suite 2
C P	eview changes in Broadcom Advanced Control Suite 2
	< <u>B</u> ack Finish Cancel Help

10) When the team is configured, the adapters selected in the above steps are displayed as one virtual entry, to which an IP address must be assigned.

🔍 Broadcom Advanced Control Suite 2		Ľ	
Eile View Tools Help			
Name	Team Properties Statistics Information Value Team Name Team 1 Team Type Smart Load Balancing Driver Name Baspop32 sys Driver Version 6.1.23 Driver Date 07/10/2006		
	Delete Team Configure Team Add VLAN Configure LiveLink Fellback:		
Cancel Apply Help I Enable Tray Icon			
a view detailed information or to run a particular test on a selected adapter, click the appropriate tab.			

- How to delete a team Select [Tools]-[Delete a Team].
- How to save a team Select [File]-[Team Save As...].
- How to restore a team A previously saved team can be restored by selecting [File]-[Team Restore]. Select [File]-[Apply] to reactivate the team.

Correction 7.3.2 Available CPUs and Notes (p.179)

Table: "List of Available CPUs" is replaced by the one shown below.

Product name	Model	Remarks
Processor Xeon 5110 1.60GHz/4MB	<u>PG-FG33R</u>	1.60GHz/4MB, dual-core processor
Processor Xeon 5130 2GHz/4MB	PG-FG33S	2GHz/4MB, dual-core processor
Processor Xeon 5148 2.33GHz/4MB	<u>PG-FG33V</u>	2.33GHz/4MB, dual-core processor
Processor Xeon 5160 3GHz/4MB	<u>PG-FG33T</u>	3GHz/4MB, dual-core processor
Processor Xeon E5310 1.60GHz/2x4MB	PG-FG433	1.60GHz/2x4MB, quad-core processor
Processor Xeon X5355 2.66GHz/2x4MB	<u>PG-FG435</u>	2.66GHz/2x4MB, quad-core processor

Table: List of Available CPUs

Correction 7.4.2 Available Memory Modules and Notes (p.185)

Table: "List of Available Memory Modules" is replaced by the one shown below.

Product name	Model	Remarks
Memory Module-1GB	PG-RM1CE	512MB-DDR2 DIMM x2
Memory Module-2GB	PG-RM2CE	1GB-DDR2 DIMM x2
Memory Module-4GB	PG-RM4CE	2GB-DDR2 DIMM x2
Memory Module-8GB	PG-RM8CE	4GB-DDR2 DIMM x2

Table: List of Available Memory Modules

Correction 8.2.6 CPU Configuration Submenu (p.215)

Table: "Items on the CPU Configuration Submenu" is replaced by the one shown below.

Item	Setting	Description
C1E Support	Disabled	Sets the CPU internal setting.
	(Fixed parameter)	Note:
		•Not displayed with the Processor Xeon 5110(1.60GHz),
		5130(2GHz), 5160(3GHz), 5148(2.33GHz), E5310 (1.60GHz),
		and X5355(2.66GHz) CPUs
Hardware Prefetcher	Enabled	Sets the CPU internal setting.
	(Fixed parameter)	
Adjacent Cache Line	Disabled	Sets the use of the CPU cache access function.
Prefetch	 Enabled (at the time 	
	of purchase)	
Vanderpool Technology	 Disabled (at the time 	Sets the use of virtualization technology.
	of purchase)	Note:
	Enabled	 Selectable at power-on only; not selectable at reboot.
Execute Disable Bit	 Disabled (at the time 	Sets the use of the security function to avoid buffer overflow.
	of purchase)	
	Enabled	
Intel(R) SpeedStep(tm)	 Maximum 	Sets the CPU power saving function.
tech.	 Minimum 	Not supported with the optional Xeon 5110(1.60GHz),
	 Automatic 	5130(2GHz), and E5310(1.60GHz) CPUs.
	 Disabled (at the time 	
	of purchase)	
Intel(R) C-STATE tech.	Disabled	Sets the function to optimize the performance and power status
	(Fixed parameter)	by moving the CPU status according to the load.

Lable: Itome on the CULL Continuention Subme	nii

Correction 8.2.10 CPU Status Submenu (p.221)

Table: "Items on the CPU Status Submenu" is replaced by the one shown below.

Table: Items on the CPU Status Submenu					
Item	Setting	Description			
CPU1 Status	Enabled (Fixed parameter)	Displays the CPU status. After replacing the CPU, set to [Enabled].			
CPU2 Status	Enabled (Fixed parameter)				
Hyper-Threading Function	 Disabled (at the time of purchase) Enabled 	 Sets whether or not to run one CPU as a dual-processing CPU. The setting [Enabled] may enhance processing performance by allowing maximum use of the CPU resources. Note: Some operating systems and applications do not support the Hyper-Threading function. When setting [Hyper-Threading] to [Enabled], confirm that the Hyper-Threading function is supported in the OS vendor and application vendor. Not displayed with the Processor Xeom 5110(1.60GHz), 5130(2GHz), 5160(3GHz), 			

X5355(2.66GHz) CPUs

Correction A Server Specifications (p.278)

Table: "Diskless Type Server Specifications" is replaced by the one shown below.

	tem	Functions and Specifications				
Model		PGUX6233A	PGUX6239A			
	Туре	Dual Core Intel Xeon Processor 5110	Dual Core Intel Xeon Processor LV 5148			
CPU	Frequency/	<u>1.60GHz / 4MB</u>	2.33GHz / 4MB			
	Multiplication	1 (M:	ax 2)			
	Standard	1GB (512M	B DIMM x 2)			
Memory	Additional	1GB / 2GB / 4GB / <u>8GB</u>				
Wernery	Maximum	32GB (4GB DIMM x 8 slots)				
Video RAM	size	16MB				
VIGCOTVAVI	5120	VGA chin' ATI ES1000				
Graphics		Resolution: 640 x 480, 800 x 600, 1024 x 768, 1280 x 1024				
		Displayed colors: Differ depending on resolution and OS				
CD-ROM dr	ive	Type: CD-ROM/DVD-ROM driv	/e unit (USB external option) *1			
2.5-inch stor	age bay	2 hot-plug	gable bays			
	Standard	No	ne			
Additional sizes Maximum size		36GB/73GB(10,000rpm, SAS)				
		146GB (73GB×2)				
Disk array		Standard: On-board SCSI array controller				
Dioireanay	Expansion					
Expansion	board slot	PCI-X 64bit/133MHz × 1 or PCI-Express (x8) × 1				
slots	Expansion card slot	Standard: None, Option: PCI-X 64bit/133MHz × 1 or PCI-Express (x4) × 1				
Floppy disk drive		Option (USB floppy disk drive) *1				
Network ports		LAN(1Gbps)×2				
Interface		Chassis *2 : keyboard, mouse, monitor				
		Display / USB Cable *3 : Monitor, USB × 2				
Dimensions (mm)		42 × 476 × 286 (W × D × H) (1 slot occupied in BX600 S2 chassis)				
Weight		7.0kg				
Internal clock precision		± 2 to 3 minutes/month				
Power consumption		Max. 413 W (Max. 1487 kJ/h) Max. 233 W (Max. 839 kJ/h)				
Power source		DC12V / DC5V (Standby pow	er) Supplied from the chassis.			
OS		Windows 2000 Server / Windows 2000 Advanced Server Windows Server 2003, Standard Edition / Windows Server 2003, Enterprise Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition / Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard Edition / Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition				
		Red Hat Enterprise Linux ES (V.3 for x86、V.4 for x86、V.4 for EM641) Red Hat Enterprise Linux AS (V.3 for x86、V.4 for x86、V.4 for EM64T) Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition				

Table: Diskless Type Server Specifications

*1: At least one unit is required in this blade server system. Although the DVD-ROM drive unit has CD-R/RW function, overwriting function to the CD is not available.

*2: Connected to each connector of the keyboard, mouse, or display of the CRT/KB cable (one supplied with the chassis as standard) connected to the chassis. (Changed for each server blade.)

*3: Connect the Display / USB Cable (one supplied with the chassis as standard) to the connector on the front of the server blade.

The specifications for this server blade are liable to be updated without any notice. Please be forewarned.

Correction B.1 CPU Specifications (p.279)

Table: "CPU Specifications" is replaced by the one shown below.

Table: CPU Specifications						
Item	Functions and Specifications					
	Processor	Processor	Processor	Processor	Processor Xeon	Processor Xeon
Product name	<u>Xeon 5110</u>	Xeon 5130	Xeon 5160	Xeon 5148	E5310	<u>X5355</u>
	1.60GHz/4MB	2GHz/4MB	3GHz/4MB	2.33GHz/4MB	1.60GHz/2x4MB	2.66GHz/2x4MB
Model	PG-FG33R PG-FG33S PG-FG33T PG-FG33V				PG-FG433	PG-FG435
Clock		2047	204-	2 2204-		2 66 6 4 7
frequency	<u>1.60GHZ</u> <u>2GHZ</u> <u>3GHZ</u> <u>2.33GHZ</u>			<u>2.330nz</u>	1.00002	2.00GHZ
Internal						
secondary	<u>4MB</u>			<u>2x4MB</u>		
cache size						
Front size bus	<u>1066MHz</u> <u>1333MHz</u>			<u>1066MHz</u>	<u>1333MHz</u>	

Correction B.2 Memory Specifications (p.280)

Table: "Memory Specifications" is replaced by the one shown below.

Table: Memory Specifications					
Item	Fu				
Product name	Memory Module-1GB	Memory Module-2GB	Memory Module-8GB		
Model	PG-RM1CE PG-RM2CE PG-RM4CE			PG-RM8CE	
Component	512MB FB-DIMM x 2	4GB FB-DIMM x 2			
Size	1GB	<u>8GB</u>			
Clock	667MH7				
frequency	<u>007 MHZ</u>				
Pin count	240				

4. How to obtain the Configuration Sheets

In preparation for failures and for maintenance purposes, record the server settings in the Configuration Sheets. The Configuration Sheets file can be obtained from the PRIMERGY Web site: http://primergy.fujitsu.com/

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007